

「白い森の国おぐに」森づくり活動の取り組みについて

小国町は、全国有数の豪雪地帯であり、「ブナの森」をはじめ、町全体を覆い尽くすように落葉広葉樹林が広がっています。この豊穡の森の象徴であるブナの樹肌と、冬に降り積もる雪から連想される「白」。小国町では町全体を「白い森」と呼び、そこで培われてきた先人の技術と知恵である「ぶな文化」を基軸に町づくりを進めています。

今年度、小国町では、山形県みどり環境交付金を活用して様々な体験活動を開催し、次代を担う子ども達をはじめ多くの住民を対象に、森林や農林業への理解と促進を目的とした事業を展開しています。

生涯学習講座開設事業

【白い森子ども体験教室】

小学生を対象に、町内に生息する生物の観察や森林散策を通じて、森林環境やさまざまな動植物の特徴と役割について学びました。



森の学校「いきもの調査」



森の学校「いきもの探し」

森から拓く次代の生業づくり事業

【林業機械操作技術研修】

町民を対象に、刈払機に関する安全衛生教育研修を行いました。機械操作技術の向上と安全な使用方法について学ぶことで、町内の森林整備の促進に繋がるものと期待されます。



刈払機研修会の様子

白い森みらい創生事業

【産学官連携による地域木材の利用と木育の推進プロジェクト】

町の豊かな森林資源の活用や、幼少期からの木育の推進を目的に、産学官が連携して学生の演習、町民ワークショップなど様々な活動を実施しています。

町産材を用いて制作した家具を「ファーストファニチャー」として、毎年町内の3歳児に贈呈して使ってもらうことで、木への愛着を醸成しています。(配布は3月を予定。)



家具を作る木材加工場の見学



町内広葉樹林の探索



家具デザイン発表の様子

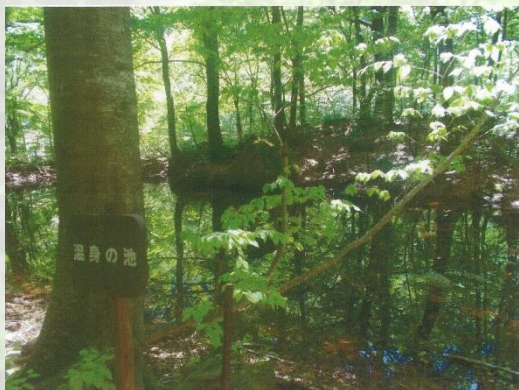


町内スーパーでのデザイン展示

森林セラピー推進事業

【環境整備】

森林セラピー基地「ブナの森温身平」の機能と景観を保ち、訪れる方々が快適に森林セラピーを楽しめるよう、セラピーロードの環境整備を行いました。



環境整備されたセラピーロード

白い森づくり体験事業

【植林・森林体験学習】

町内小学生5年生を対象に、植林作業等の実演見学、植林及び伐倒体験を行い、森林資源の循環利用の必要性や意義を学びました。



植林した苗をバックに記念撮影



造林作業等の映像を見ながらの講座